

生き物がいっぱいの夏井川を目指して

ヤマメの稚魚放流

夏井川漁業協同組合によるヤマメの稚魚の放流が10月5日と6日に行われました。

稚魚の放流は、河川環境の保全と水産資源の育成を目的として毎年行われているもので、5日には浮金小学校の児童と浮金つつじ児童園の園児が参加し、約1,200匹の稚魚を夏井川支流に放流しました。

はじめに、夏井川漁業協同組合の熊田文昭支部長と浮金小学校の武田光弘校長から「自分たちの住んでいる地域にヤマメのいる川が流れていることの素晴らしさや、それをこれからも守っていくことの大切さ」について説明がありました。

子どもたちは、バケツに入った稚魚に「大きくなれ」などの声を掛け、川岸から放流し川の中で元気に泳ぐ姿に感動していました。

なお期間中、町内10カ所にわたり約7,000匹の稚魚が放流されました。



ヤマメの稚魚を放流する浮金つつじ児童園の園児と関係者の皆さん

町をきれいに

田村たばこ販売協同組合清掃活動

田村たばこ販売協同組合小野町方部会(渡邊直忠会長)の皆さんが10月14日、役場からJR小野新町駅までの通りの清掃活動を行いました。

この清掃活動は、地域の奉仕活動の一環として毎年行われているものです。

清掃活動に参加された皆さんに、紙上より厚くお礼申し上げます。



田村たばこ販売協同組合小野町方部会の皆さん

身近な不思議を学ぼう

福島工業高等専門学校による出前講座

福島工業高等専門学校による出前講座が9月15日に小野新町小学校で、9月27日に夏井第一小学校で行われました。

福島高専から2人の先生を招き、放射線の基本的な仕組みを説明いただいた後、児童たちはきり箱を用いた放射線の飛跡の観察実験に取り組みました。この出前講座は、町と福島高専が「連携協力に関する協定書」を締結していることから実現したものです。



放射線の飛跡の観察をする児童(小野新町小)